



# 竹山小だより



令和6年4月

学校 HP もご覧ください

## 丹波市立竹山小学校が開校しました



3月に閉校した竹田小学校と前山小学校が統合し、新たに竹山小学校が開校しました。4月8日（月）に開校式、9日（火）に入学式を行い、全校児童136名で1年目の竹山小学校がスタートを切りました。竹田小学校と前山小学校の伝統を引き継ぎつつ、広がった学びのフィールドとたくさんの仲間とともに、竹山っ子は新しい竹山小学校を創り上げていきます。そんな子どもたちのじりつ（自律・自立）に向けて全職員が子どもたちに寄り添いその可能性を見出してまいります。保護者、地域の皆様には、ともに歩むパートナーとしてご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



校旗授与  
片山教育長から足立校長、  
児童代表余田勇志さんへ



児童のことは  
代表：川崎勇輝さん  
前田彩希さん



全校生で新しい校歌を歌い  
ました。

## 竹山小最初の1年生23名が入学

9日の入学式には4年生以上が参加し、新しい校歌を歌い、「春が来た」も1年生と一緒に歌いました。2年生、3年生は教室からオンラインで入学式の様子を視聴し、全校生で温かく1年生を迎えることができました。

1年生は、担任の呼名に対して、元気よく手を挙げながら「はい」と大きな声で返事をし、竹山小学校への仲間入りをしました。

5年生、6年生は入学式の準備や片付け、受付やアーチなど自分の仕事を責任をもってやり遂げ、進んで行動する姿もたくさん見られました。そんな姿からは竹山小学校の新たな伝統を自分たちの手で創り上げ、リードしていこうとする気持ちが伝わってきました。



令和6年度職員組織 よろしくお願ひします

地域配付版に掲載

学校教育目標

ふるさと竹山で、子どもたちが人とかかわりながら、じりつ(自律・自立)する学校  
～失敗 OK の学校から社会や未来を切り拓く子どもたちが育っていく～

めざす子どもの姿

- ◆人とかかわりながら、自分(たち)で自分(たち)の学びを深める子(自律)
- ◆自分のよさに気づき、自分も相手も大切にできる子(自立)
- ◆ふるさと竹山の「ひと・もの・こと」や身近な疑問や課題から学べる子

めざす子どもの姿を実現するための方策

- **学びを変えるプロジェクト** ⇔ 人とかかわりながら、自分(たち)で自分(たち)の学びを深める子
  - ・主体的・対話的で深い学びのある授業の創造
  - ・協働的な学び×個別最適な学び×ICT
  - ・自ら学ぶ力を育む学習の取組(子どもに委ねる教師の意識改革・児童進行型授業・自由進度学習)
  - ・自己調整力と粘り強さなどの育成を図る支援の在り方の研究
  - ・低学年スタートカリキュラムの継続・発展
- **誰一人取り残さないプロジェクト** ⇔ 自分のよさに気づき、自分も相手も大切にできる子
  - ・朝の運動による運動機能の向上と心の安定
  - ・違いや多様性を尊重する人権教育の推進
  - ・特別支援教育の視点をすべての学級で展開
  - ・様々なバックグラウンドを持つ人たちから学ぶ体験学習(人権・同和教育、福祉体験)
  - ・自己肯定感の高揚、自分のよさ・友だちのよさに気づく取組
  - ・年間を通じた縦割り遊び・縦割り掃除。子どもたちとともに創る児童会・学級会活動
  - ・子ども園、中学校と連携した取組  
(1年生との交流・5歳児5年生連携、トライやるウィークや出前授業・交流によるキャリア形成)
- **地域・家庭と一緒にプロジェクト** ⇔ ふるさと竹山の「ひと・もの・こと」や身近な疑問や課題から学べる子
  - ・基本的な生活習慣の定着に向け家庭と連携した取組
  - ・竹山学(生活科・総合的な学習の時間)を核とした地域と連携した学習
  - ・CSを活用した両地域の教育資源(ひと・もの・こと)の効果的な活用と学校参画の推進
  - ・通所支援事業所との連携による子どもの育ちや支援の在り方の共有
  - ・HPや学校だより、通信等による積極的な情報発信
  - ・学校行事、オープンスクール、授業参観などの積極的な公開
  - ・地域・家庭とめざす子ども像を共有し全員が当事者となる取組

めざす子どもの姿を実現するための教職員の役割

- ◆子どもに寄り添い、子どもの可能性をみいだす教職員
- ◆心身ともに健康で、協働して新たなことへの挑戦や学校づくりを楽しめる教職員
- ◆家庭・地域をパートナーと認識し、児童の成長に向け主体的・組織的に取り組む教職員

先生・保護者・地域が「よりよいパートナー」

保護者の役割(令和5年度合同学年懇談会のまとめより)

- ◆保護者同士や先生方と仲よくつながる
- ◆子どもたちの個性を尊重し、多様な考え方を認め合える
- ◆子どもの声を聞く・聴く。子どもの変化に気づける

地域の役割(令和5年度第2回運営協議会まとめより)

- ◆地域のよさや伝統を子どもたちに伝えたい
- ◆見守りだけでなく子どもたちや先生方を支援したい
- ◆地域の方々とつながる企画を考えたい